



うちのイチ押し!

第4回

大阪市将棋大会を開催します!

大阪市教育委員会では、児童・生徒が将棋を通して礼儀作法を身につけ、思考力や集中力、決断力、洞察力の養成を図ることや、小学生から成人までの世代間の交流に寄与することを目的として、大阪市将棋大会を開催します。

【開催日時】 令和6年 9月21日(土) 12時受付開始 12時30分開会

【開催場所】 大阪市立北区民センター(〒530-8401大阪市北区扇町2-1-27)

最寄り駅: Osaka Metro堺筋線「扇町」駅 2号-B出口北へ3分

JR環状線「天満」駅 西へ3分



【募集期間】 令和6年7月1日(月)～8月31日(土)

【参加資格】 大阪市内在住・在学・在勤の小学生から大人まで

【参加費】 小学生・中学生 500円 高校生以上 1,000円

【定員】 192名(下記6クラス各32名)(応募多数の場合抽選)

- Aクラス(二段以上/小学生以上)
 - Bクラス(初段～4級/小学生以上)
 - Cクラス(5級～10級/小学生から中学生)
 - Dクラス(初心者親睦クラス/小学5年生から中学生)
 - Eクラス(初心者親睦クラス/小学3年生・4年生)
 - Fクラス(初心者親睦クラス/小学1年生・2年生)
- ※但し、10級以上の級位者を除く

【競技方法】 クラスごとの対局、

- 予選: A・B・Cクラスは2局もしくは3局対戦(2勝通過)
D・E・Fクラスは5局制(3勝以上通過)

- 本戦: トーナメント戦

すべて平手戦。持ち時間は25分切れ負け。(その他、日本将棋連盟対局規定に準ずる)

【表彰など】 ●各クラスにおいて、優勝者から3位まで表彰 ※3位決定戦は行いません

- 優勝者及び準優勝者には日本将棋連盟より免状又は級位認定状の贈呈 ●参加者全員に記念品を配布

申し込み方法

公益社団法人日本将棋連盟関西本部のインフォメーションページよりお申し込みください

URL <https://www.kansai-shogi.info/>
(関西将棋会館: ホーム)



関西将棋会館のHP

※インターネットによる事前申し込みのみとなります

※当日の参加受付は行いません

問い合わせ先

〒553-0003 大阪市福島区福島6-3-11

公益社団法人日本将棋連盟関西本部普及推進部

Eメール kansai-taikai@shogi.or.jp

主催: 大阪市教育委員会



おおさか

歴史探訪

191

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

芭蕉終焉の地

日本の俳人といえば、俳聖・松尾芭蕉(1644-1694)を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。芭蕉は「奥の細道」で知られるとおり、日本全国を旅し、訪れた先々で多くの俳句を詠みました。その芭蕉が最期を迎えた場所は大坂でした。

彼は元禄7(1694)年の9月、大坂を訪れました。それは大坂の門人である槐本之道(1659?-1708)と濱田酒堂(生年不詳-1737?)を和解させるためでしたが、その途中で体調不良に陥りました。一度は回復したものの再び悪化し、10月12日夕方に南御堂前の屋敷にて息を引き取りました。享年51歳でした。

この場所では、安永2(1773)年に大坂の俳人たちが芭蕉追善の法要句会を行ったといわれています。また、俳人・菅沼奇淵(1765-1834)がこの場所を拠点に芭蕉の顕彰に努めたともいわれています。その後、奇淵の門人が住んだこともあったようですが、居住者の移り変わりや建て替えを経て、昭和初期に行われた御堂筋拡張工事の際に道路となりました。

現在、南御堂前の御堂筋の緑地帯内には大阪府が昭和9(1934)年に設置した「芭蕉終焉の地」の石碑が立っています。また南御堂内には、芭蕉が詠んだ最後の俳句「旅に病んで夢は枯野をかけめぐる」を刻んだ句碑もあります。

今は都会となったこの地の喧騒に包まれながら、芭蕉の生涯に思いをはせてみるのはいかがでしょうか。

(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)

※「芭蕉終焉の地」の石碑は道路内にあるため、近づくのは危険です。歩道からご覧ください。 ※人名の表記・ふりがなは諸説あります。



御堂筋緑地帯内の「芭蕉終焉の地」の石碑(中央区久太郎町3丁目)